

自 令和4年(2022年)4月1日  
至 令和5年(2023年)3月31日

## I. 概要

令和元年末に発生した新型コロナウイルス感染症(COVID-19)は、全世界に感染拡大しパンデミック現象を引き起こすと共に変異を繰り返し、感染力が強いオミクロン株の亜型BA.2などに置き換わった後、政府では、令和5年5月8日から新型コロナの感染症法上の位置づけを、2類から5類(季節性のインフルエンザ相当)に変更し徐々に以前の活動やインバウンド消費もしてきた。一方、世界では地政学上の問題による紛争、サイバーテロ、経済安保、国際物流問題などが重要課題として存在している。また、国内では地震・台風などによる自然災害対策、エネルギー事情と環境対応、少子高齢化対策、事業継続と産業の活性化など継続して取り組む課題が山積している。そのような環境下ではあるが、当会が扱う望遠鏡・双眼鏡などは、コンシューマー向け市場、及び防衛防犯用などの業務用途でも回復に向かっている。

主力のプリズム式双眼鏡の日本からの輸出(出所:2022年財務省輸出入統計、直送含まず)は、数量で約11万個、金額で34億円(前年27億円、平均単価は約3.2万円)、対前年比数量は22%増、金額では26%増であった。仕向け地別輸出金額上位5ヶ国の金額順及び平均単価・シェア(カッコ内)は、①米国20億円(4.6万円、59%)、②ドイツ8.3億円(2.7万円、24%)、③ベルギー1.2億円(2万円、3.4%)、④オランダ1.1億円(4.7万円、3.3%)、⑤イギリス0.7億円(2万円、1.9%)、上位5か国で約9割(前年9割)であった。

ISO国際会議及び国内委員会、JIS原案作成委員会は、対面とリアルハイブリッドにて対応した。同じくイベントでは8月の経済産業省こどもデーはオンライン(動画コンテンツ)に参加した。11月のジャパンボードフェスティバルには、3年振りにリアル開催されアビスタ2階と屋上に出展し、双眼鏡・望遠鏡の見方・使い方は来場者に喜ばれた。なお、令和5年2月のCP+2023は諸事情により参加を見送った。

令和4年度の当工業会各事業の具体的内容について、以下の通り報告する。

## II. 事業報告

### 1. 会議

- 1.1 第46回通常総会:令和4年5月20日(金)、池袋東京セミナー学院にて開催した結果、議案は全て承認された。なお、コロナの感染リスクを考慮し懇親会は中止した。

#### 【議案】

- 第1号議案: 令和3年度事業報告書及び決算報告書承認の件
- 第2号議案: 令和4年度事業計画書承認の件
- 第3号議案: 令和4年度会費の額及びその納入方法承認の件
- 第4号議案: 令和4年度収支予算書承認の件
- 第5号議案: 定款の変更の案承認の件
- 第6号議案: 役員(理事・監事)選任の件

- 1.2 賀詞交歓会は令和5年1月13日(金)に開催を予定していたがコロナ禍の影響により中止した。
- 1.3 理事会:新公益法人改革の法律及び定款にもとづき、継続事業報告を実施し進捗を確認した。また、工業会の存続のため経常収支改善に関する会長提案を審議した。
- ①令和4年5月11日(水):第45回通常総会議案審議(令和2年度事業報告&収支決算書)、他。
  - ②令和4年8月24日(水):工業会の将来について。
  - ③令和4年8月31日(水):臨時総会(書面審議、決議の省略)、富永理事辞任、原田様後任の件
  - ④令和4年11月16日(水):都合により開催は見送られた。
  - ④令和5年1月13日(金):工業会の将来に関する会長提案の件。
  - ⑤令和5年3月22日(水):令和4年度事業計画&収支予算書、工業会の将来に関する報告他。

- 1.4 総務広報委員会:都合により開催は見送られた。
- 1.5 技術委員会:コロナ禍の影響で開催は見送られた。
- 1.6 業界活性化委員会:コロナ禍の影響で開催は見送られた。

### 2. 会員入退会情報

- 2.1 令和5年3月31日付現在の会員数:正会員数30社(変わらず)、賛助会員数8社(変わらず)

### 3. 「双眼鏡・望遠鏡歴史展示室関連」

3.1 寄贈品・寄託品は特になかった。

## 4. 継続事業報告

### 4.1 国際標準化規格関連事業 (ISO/TC172/SC4 望遠鏡 (Telescopic Systems))

4.1.1 議長: Mr Daniel Rotter (オーストリア, 2024年末までの任期)

事務局: DIN, Mrs Dipl.-Ing. (FH) Petra Bischoff (ドイツ)

作業グループ: WG2 (Telescopic devices (望遠装置) が活動中。

Pメンバー (10ヶ国): オーストリア、中国、ドイツ、日本、韓国、ナイジェリア、ルーマニア、ロシア、イギリス、アメリカ

Oメンバー (8ヶ国): クロアチア、フランス、フィリピン (新規)、ポーランド、サウジアラビア、スロバキア、スペイン、スイス

#### 1. 活動内容と総括

TC172/SC4は、「光学及びフォトニクス関連の分野のうち、望遠鏡の用語、性能特性、試験方法における規格」を制定する技術委員会であり、1992年10月にサンクトペテルブルグで開かれた第1回国際会議でSC4の活動が始まり、これまでに22件の規格が審議・制定・改正されてきた。またSC1から1件の規格が移管されており、合計23件を所掌している。昨年以降新たに発行あるいは改定された規格はない。

参加国は2023年4月現在でPメンバー10ヶ国、Oメンバー8カ国である。昨年以降フィリピンが新たにOメンバーとして加入した。そのうち、国際会議に継続的に参加し議論しているのは、ドイツ、オーストリア、ルーマニア、アメリカ、日本の5カ国である。

議長、事務局は当初ロシアだったが、現在は議長オーストリア、事務局DIN (ドイツ) となっている。

現在、ライフルスコープ、ナイトビジョン関係の用語、特性、試験方法の規格の改正等が提案からDISの各段階で検討されており、今後も議論に参加してゆく。

そのほか、発行済みの規格については、見直しまたは改正が進められており、SC4国内委員会は、投票やコメントはもとより、これらの作業や審議に積極的に関わり、検討・討議を行なっている。また、必要に応じてこれらのISOをもとにJIS原案を作成し提案している。

#### 4.1.2 2. SC4国内委員会活動経過 (2022.4~2023.3)

##### (1) 活動概要

・2022年度中に、SC4及びWG2国際会議は開催されなかった。国内会議も開催しなかった。

・ISO投票はSR1件に投票し、その他意見招請等1件に対応した。

・ISO規格では、発行済みの23件を所掌している。なお、改正以外の理由で廃止された規格は無い。

・ISO 14490-9:2019とISO 14490-10:2021の翻訳JISであるJIS B7263-9及びJIS B7263-10の作成について、JSA公募制度に応募し、いずれも2023年3月20日に発行された。ISO 14133-1及びISO14133-2を元にしたJIS B7121の改定について、JSA公募制度に応募し、現在発行待ち。

##### 4.1.3 (2) 会議

2022年4月21日 [JIS作成国内委]

- JIS B7263-9及びJIS B7263-10の作成作業。

10月27日 [JIS作成国内委]

- JIS B7121の改正作業。

12月19日 [JIS作成国内委]

- JIS B7121の改正作業。

その他、ISO投票等について、随時メール審議を行った。

##### 4.1.4 (3) ISO投票

2022年4月 [FIDS投票及び結果] (JISCの投票は下線部)

- ISO 20711:2017 望遠鏡試験方法—試験環境

(不切9/2、賛成7、修正0、棄権5) Approved

(参考)

4月 [Convenerの承認についての投票] (JISCの投票は下線部)

- オーストリアのMr. Rotterを2024年末までの任期で承認する件について  
(〆切2023/4/12、賛成11、反対0、棄権7) Approved

#### 4.1.5 3. これまでに日本で原案を作成した規格

ISO 14132-4 望遠鏡用語(第4部:天体望遠鏡)

ISO 14134 天体望遠鏡特性(一般品と高性能品の2規格を統一)

ISO 14490-4 望遠鏡試験方法(第4部:天体望遠鏡)

#### 4.1.6 4. 今後の国際会議予定

TC172/SC4国際会議が令和3(2021)年10月19日に、TC172/SC4/WG2国際会議が同20日にWeb会議にて開催され日本からも参加した。会議では、2022年春にWeb会議でWG2を開催し、コロナの状況によるが秋に対面でSC4(含むWG2)会議をベルリンまたはアメリカで開催を検討すると決議されたが、延期された。現在、2023年6月21日にSC4/WG2のWeb会議、11月6日から10日にベルリンでSC4の会議が予定されている。

#### 4.1.7 規格の審議状況は別紙を参照願います。

### 4.2 ホームページ関連事業

令和3年度事業報告・収支報告、及び令和4年度事業計画・収支予算書(6月)、財務省統計(3ヶ月毎更新)、イベント関連(JBF)、検査工具機器在庫情報の更新、役員名簿、会員情報の更新をおこなった。

また、ギャラリーページでは、天体(皆既月食と天王星)、野鳥(カワセミ・コミズク・オオカラモズ)、その他(三十槌の氷柱(みそづちのつらら))などを追加した。

### 4.3 イベント関連事業

#### 4.3.1 経済産業省こどもデー2022

ON LINE及びリアルハイブリッド開催になったが、動画配信に参加した。

#### 4.3.2 野鳥関係 ジャパンバードフェスティバル(JBF2022)

本年度は3年振りにリアル開催され、工業会でもアビスタ2階及び屋上にて出展した。

会期:令和4年11月5日(土)~6日(日)、会場:千葉県我孫子市アビスタ及び周辺

主催:ジャパンバードフェスティバル実行委員会(事務局は我孫子市)

実行委員会:オンライン1回、書面審議1回、対面4回にて開催された。令和4年4月12日(zoom)、7月6日(対面)、8月17日(書面)、10月5日(対面)、11月22日(対面)、2月15日(対面)

#### 4.3.2 CP+2023

新型コロナウイルス感染症のためON LINE開催のみとなったが、参加は見送った。

### 4.4 調査広報事業

#### 4.4.1 公式発表されている財務省関税局輸出入通関統計(双眼鏡、単眼鏡、ライフルスコープ等)をホームページに掲載すると共に会員向けには会報内に掲載。なお、会員企業による自主統計は継続中。

#### 4.4.2 国内外の市場・流通動向:諸統計にて掲載。

#### 4.4.3 イベント案内:ホームページに掲載すると共に会員向けには会報(電子メール)にてお知らせした。

#### 4.4.4 事業成果の普及:通常総会にて承認後、ホームページに掲載した。

### 4.5 関連団体提携事業

#### 4.5.1 軽機械センター運営協議会への参画事業:中国・欧州情報収集

- ①令和4年1月30日(月)CiscoWebexによる幹事会に出席した。令和4年度決算書を審議し承認された。
  - ・経産省・安田課長ご講演、欧州駐在の前田代表、長宗前代表によるご挨拶。
- ②令和5年3月24日(木)CiscoWebexによる幹事会に出席した。令和5年度予算書審議し承認された。
  - ・経産省・安田課長ご挨拶、北京駐在の前國峯代表ご挨拶、吉池代表による講演を聴講した。
- ・会員構成:ビジネス機械・情報システム産業協会、日本機械輸出組合、JETRO、日本時計協会、カメラ映像機器工業会、日本縫製機械工業会、日本望遠鏡工業会

#### 4.5.2 日本光学工業協会への事業運営参加 於:機械振興会館

- ・国際標準化規格、JIS関連、技能検定等々、TC172活動報告の発行  
6月9日(木)役員会(事業報告&会計報告、事業計画&収支予算書)に出席した。  
10月7日(金)研修会、7月29日(金)、令和5年2月2日(木)情報交換会に出席した。

- ・ 会員構成: 日本顕微鏡工業会、日本光学測定機器工業会、日本医用光学機器工業会、(一社)カメラ映像機器工業会、(一社)日本測量機器工業会、(一社)日本写真映像用品工業会、(一社)日本望遠鏡工業会

4.5.3 (一社)日本写真映像用品工業会との業務提携: 情報共有、及び会員に用品年鑑を配布した。

- ・ 6月7日(火) Photonext2021を見学した。於: パンフィコ横浜  
12月8日(木) 定時総会は都合により欠席した。  
令和5年1月11日(水) 写真4団体新年会に出席した。於: 経団連会館  
1月17日(火) 用品工&カメラ博物館と情報交換した。

4.5.4 (一社)天体望遠鏡博物館(四国東さぬき市)との業務提携: 情報共有をおこなった。

- ・ 令和5年3月31日(金) 歴史展示室関連について村山代表と情報交換した。

4.5.5 日本天文協議会(2010年9月9日発足)への参画: 平成28年(2016年)2月18日付で入会。

- ・ 令和4年(2022年)2月16日(水)、持続可能な発展のための国際基礎科学年2022(IYBSSD2023)に関連して、太陽系外惑星命名キャンペーンに関する情報共有した。
- ・ 日本天文協議会(抜粋): 世界天文年2009の成果を引き継ぎ、日本の天文研究、普及・アマチュアが一体となって、天文と科学の理解を日本の社会に広げるための合同組織(会長: 渡辺潤一 副会長)。
- ・ 会員構成: 日本天文学会、自然科学研究機構 国立天文台、宇宙航空研究開発機構、天文教育普及研究会、日本プラネタリウム協議会、日本公開天文台協会、日本天文愛好者連絡会、星空を守る会、日本望遠鏡工業会

## 4.6 経営環境関連事業

4.6.1 研修会開催事業(技術委員会主催): コロナ禍の影響で開催は見送られた。

4.6.2 部会活動事業(業界活性化委員会): コロナ禍の影響で開催は見送られた。

4.6.3 リモート会議用としてZoomを1年契約を更新中(理事会、総務広報委員会、JIS原案作成委員会他)。

## 5. 検査・測定機器

### 5.1 検査依頼: 合計48件(令和3年度44件、令和2年度43件)

内訳: 双眼鏡試験(10件)、検定・校正(視度34件、光軸4件、他6)、分光透過率(2件)、他証明書発行6件

### 5.2 検査器具販売: 合計77件 (令和3年度69件、令和2年度236件: アイケア197件含む)

内訳: 視度望遠鏡56本、光軸1本、G型3本、ダイナメーター11個、ハロゲンランプ3個ほか。

## 6. 行政府機関等への調査協力

6.1 経済産業省産業機械課: セーフティーネット保証5号、分類番号2751: 顕微鏡・望遠鏡  
主力のプリズム式双眼鏡に関して、自主統計(協力企業)をもとに生産金額のデータを提出している。

6.2 東京都産業労働局商工部経営支援課: 東京都概要調及び業種別動向調査、11月18日回答済み。  
動向調査期間: 令和3年10月～令和4年9月、概要調: 令和4年10月末。  
・ 中小企業支援事業: コロナ禍の影響のためメールでの紹介に変更された。